

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 育 課 程 等 の 概 要

(国際文化研究科 国際文化専攻 博士後期課程)

科目区分	科目群	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
特殊講義科目	学外研究語	英語言語研究特講	1・2・3前		4		○			1					
		フランス言語研究特講	1・2・3後		4		○			1					
	学外研究文	イギリス文学研究特講	1・2・3後		4		○			1					
		中国文学研究特講	1・2・3前		4		○			1					
	係国研究関	国際法研究特講	1・2・3後		4		○			1					
	社会国際歴史	フランス歴史文化研究特講	1・2・3前		4		○			1					
		東アジア歴史文化研究特講	1・2・3後		4		○			1					
	域比研究地	比較地域研究特講	1・2・3前		4		○			1					
		文化人類学研究特講	1・2・3後		4		○			1					
	小計 (9科目)			—		36		—			9				
導研科目指	国際文化特別研究	1・2・3通		12				○		9					
小計 (1科目)			—		12		—			9					
合計 (10科目)			—		12	36		—			9				
学位又は称号		博士 (国際文化)		学位又は学科の分野			文学関係								
教 育 課 程 の 編 成 方 針															
教育課程は特殊講義科目 (選択) と研究指導科目 (必修) とから編成されている。後期課程では複数指導制をとることで、学生にきめ細かな指導を行い、高い研究能力の育成を図る。特殊講義5科目群のうちから3年間のうちに3科目群以上を履修させ、博士学位論文の基盤となる各学問分野の方法論と総合的な視野を獲得する。その間、研究指導科目「国際文化特別研究」により、学生の持つ個別の課題に即し、3年次までの学位論文作成計画を立て、雑誌論文発表や学会報告等の指導を行うなどして、課程内での学位取得を目指す。															
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
特殊講義5科目群のなかから12単位、研究指導科目としての国際文化特別研究を原則として3年間で12単位の合計24単位を取得し、博士論文の審査および所定の試験に合格すること。								1学年の学期区分			2 期				
								1学期の授業期間			1 5 週				
								1時限の授業時間			9 0 分				